

安全データシート (Safety Data Sheet)

1. 製品および会社情報

製品名 : 強化液消火薬剤
会社名 : 株式会社丸山製作所
住所 : 〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-4-15
担当部門 : マルヤマエクセル株式会社 防災事業部 千葉工場
〒283-0044 千葉県東金市小沼田 1624-1
電話番号(TEL) : 0475(52)0066
F A X : 0475(53)3229

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

下記に記載がない項目は、「区分外」、「分類できない」/「分類対象外」

物理化学的危険性

急性毒性（経口） : 区分 5
皮膚腐食性・刺激性 : 区分 1A-1C
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 1
特定標的臓器・全身毒性 : 区分 3

GHS ラベル要素

絵またはシンボル :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。呼吸器への刺激のおそれ
注意書き : [安全対策] 必要に応じて個人用保護具等を使用すること。取扱い後は
良く手を洗うこと。「7, 取扱いおよび保管上の注意」を参照
[救急措置] 「4, 応急措置」を参照
[保管] 「7, 取扱いおよび保管上の注意」を参照
[廃棄] 「13, 廃棄上の注意」を参照

3. 組成および製品情報

単一製品・混合物の区分：混合物

成分	含有量	化審法	安衛法	C a s No
炭酸カリウム	36%	1-153	公表	584-08-7
リン酸水素2カリウム	1%	1-452	公表	7758-11-4
水	63%	—	—	あり

※PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)不使用

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移し、うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で十分に洗い流す。
- 眼に入った場合 : 流水で十分に洗い流し、必要に応じて、医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄する。必要に応じて、医師の診断を受けること。
- 応急処置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は不燃性のため、該当しない。
- 特定の消火方法 : 不燃性のため、該当しない。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急措置 : 「8, 暴露防止および保護装置」を参照
 作業者は適切な保護具等を着用し、漏洩したものなどが皮膚に付着したり、蒸気を吸入したりしないようにする。
 一般的に風上から作業を行い、風下への人の退避は避ける。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物が河川などに排出するのを防止する。
- 回収、中和(廃棄などの封じ
込め浄化の方法・機材) : 少量の場合は、ウェスなどで拭き取る。大量の場合は、スコップ等を用いて空容器に回収し、土・砂等に吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は水で十分に洗い流す。
 回収出来ないものは、希塩酸、希硫酸で中和し、多量の水で洗い流す。中和の際に、炭酸ガスを発生し、発熱、飛沫が生じることがあるので注意する。又、この薬剤でぬれた床は滑

りやすいので注意する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い上の注意事項
- : 皮膚に付いたり、蒸気を吸入したりしないように適切な保護具を着用する。
 - : 作業場の喚起を十分に行う。
 - : 眼との接触を避ける。
 - : 使用前に SDS を入手し、読むこと。
 - : SDS を読みよく理解するまで取扱わないこと。

保管上の注意事項

- 適切な条件
- : 容器は密閉して冷暗所に保管する。
- 安全な容器包装材料
- : 製品容器、該当する消火器等

8. 暴露防止および保護装置

- 設備対策
- : 局所排気装置を設けることが望ましい。取扱い場所の近くに洗顔および身体洗浄のための設備を設置する。
- 管理濃度
- : 設定されていない
- 許容濃度
- : 設定されていない
- 保護具
- 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防毒マスクを着用すること。
 - 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
 - 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
 - 皮膚および身体の保護具 : 長袖作業衣、保護長靴、保護衣等

9. 物理的および化学的性質

- 外観
- : 無色透明 (液体)
- 臭い
- : 無臭
- 水素イオン濃度 (pH)
- : 12.0
- 凝固点
- : -22°C
- 引火点
- : 情報なし
- 引火または爆発限界
- : データーなし (上限および下限)
- 蒸気圧
- : データーなし
- 比重
- : 1.372 (20°C)
- 溶解性
- : 水: 自由に混合、有機溶媒: エタノールに可溶
- 自然発火温度
- : 自然発火しない

10. 安定性および反応性

安定性	: 常温における取扱い条件では、安定である。
反応性	: 酸性物質と接触すると中和反応を起こし、炭酸ガスを発生する可能性がある。
避けるべき条件	: 高熱、直射日光、寒冷地（凍結）
混触危険物質	: 酸
危険有害な分解生成物	: 炭酸ガス（二酸化炭素）

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分外
皮膚腐食性・刺激性	: 重篤な皮膚の薬傷（区分 1A-1C）
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 重篤な眼の損傷（区分 1）
呼吸器感作性または皮膚感作性	: データー不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データー不足のため分類できない。
発がん性	: データー不足のため分類できない。
生殖毒性	: データー不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露	: 呼吸器への刺激のおそれ（区分 3）
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	: データー不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: データー不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚	: データーなし
甲殻類	: データーなし
藻類	: データーなし
残留性/分解性	: データーなし
生態蓄積性	: データーなし
土壤中の移動性	: データーなし
その他	

pH 値が高いので、下水、河川等の水質を悪化させる。

1.3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体等の基準に従い、適切な処分を行なうこと。(20Lポリ缶に入れ、日本消火器工業会が定める特定窓口または指定取引場所へ引き渡す。又は都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。)
- 汚染容器および包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1.4. 輸送上の注意

- 国内規制 : 該当なし
- 国際規制 : 該当なし
- 輸送時の特定の安全対策および条件 : 輸送前に容器の破損・漏れがないことを確認する。転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1.5. 適用法令

- 化学物質排出把握管理促進法 : 該当なし
- 毒物および劇物取締法 : 該当なし
- 労働安全衛生法 : 該当なし
- 水質汚濁防止法 : 施行令第3条：リン含有量
排出濃度により、水素イオン濃度の規制を受ける。
- 消防法 : 危険物に該当しない。

16. その他の情報

- 参考文献 : 国連 GHS 文章改訂第 5 版経済産業省ホームページ
12996 の化学商品/化学工業日報社
GHS 分類結果データベース/製品評価技術基盤機構ホームページ
GHS 対応モデル SDS 情報ホームページ
中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ
弊社入手の安全データシートおよび入手資料
- 消火薬剤型式番号 : 薬第 2～2 号
- 消防法 : 消防法（昭和 23 年法律第 186 号）第 21 条の 2 第 2 項の規定に基づ
く「消火器用消火薬剤の技術上の規格を定める省令」
- 記載内容のお問い合わせ先：「1. 製品および会社情報」の担当部門もしくは株式会社丸山製作所
サポートセンターTEL 0120-898-114(通話料無料)

※本SDSに記載された含有量、物理的及び化学的性質／有害性情報／環境影響情報等の値は、保証するものではありません。

※記載内容については、現時点で入手した情報および資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータおよび評価については必ずしも十分ではありませんので取扱いには十分注意してください。また、注意事項等については通常の実施を対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途／用法に適した安全対策を実施し、取扱いをお願い致します。

※本 SDS の内容については、新たな情報の更新により、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。